

家庭科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成23年12月〇日 (〇)
- 2 学年・組 第5学年〇組
- 3 場 所 5年〇組教室
- 4 題材名 じょうずに使おう 物やお金

5 題材について

- 現代は品物が豊かになり、購買意欲をかきたてる情報化社会の中で、生活に必要なものを的確に選択したり、判断したりすることが難しくなっている。一方では、資源には限りがあり、環境を保全しながら暮らすことが求められている。

本題材は、児童がこれまであまり意識することのなかった物や金銭の大切さへの関心を高めるきっかけとして位置付く題材である。

この学習を通して、自分や家族の生活をよりよくするために金銭を生かして使うことが大切であることに気付き、計画を立てて適切に金銭を使うことができるようにしたい。また、物の使い方を見直し、環境への配慮や自分の持ち物の管理の仕方についても工夫していくようにさせたい。身近な消費生活や環境をよりよくしていくことができるようになるために必要な知識や態度を習得し、賢い消費者としての素地を養うことをねらいとしている。

- 本学年のほとんどの児童が自分の判断で使うことができるお小遣いを保護者からもらっている。

また文房具など学校で使う日用品を使いやすい状態で所有・管理している児童も多いが、外観や見た目を優先したり、機能的でないものを購入したりする一面もある。

また、近隣には購買意欲をかき立てられる大型ショッピングセンターなどがあり、 unnecessary 買い物をしてしまうことも少なくない。そこで、本題材では自分の家庭でのお金の使われ方について改めて考え、家庭での収入は家族が生活していくために大切に使われているということを知り、お金に対する価値を考えさせたい。

- そこで指導に当たっては、常に児童の生活と学習とを関連させながら進めるようにする。自分や家族の生活と結びつけて考えることで、日常生活で実践していけるようにする。

最初に家庭での金銭の流れや支出について考える。金銭は限りあるものであること、多くの場合は家族が働いて得た大切なものであることをおさえ、これらのことを踏まえて後の学習を進めたい。

次に、身近な文房具と食材を取り上げ、実物を見たり商品の比較をしたりする。商品の特徴を把握し比較・選択する経験を通して、自分たちが物を買うときにいろいろな観点から選択基準をもてるようにし、目的に合わせて根拠をもって計画的な買い物ができるようにしていきたい。また、グループの話し合いを設定し、自分の考えを発表し友達の意見もしっかりと聞くことで、一人ひとりの思考が深まるようにしたい。

学習のまとめとして、自分の身の回りの持ち物をチェックし、使い方を見直し、資源が有限であることや買ったものの使われ方について話し合う。また買い物学習のキーワードを盛り込んで「買い物川柳」作りを行い、友だちと交流することで、この題材を通して学んだことを今後の生活に生かしていけるよう意識付けたい。

6 題材の目標

- 物や金銭の使い方に関心を持ち、適切に買い物をしようとする態度を育てるとともに、買い物の工夫をすることができる。

7 指導計画 (全4時間)

- 第一次 毎日の生活とお金について考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 第二次 上手な買い物ができるようになろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- ・上手にお金を使うために気をつけることを考えよう (ノート選び) (1) 本時
 - ・食品を選ぶとき気をつけることを考えよう (食品選び) (1)
- 第三次 物やお金の使い方を見直そう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

8 題材の評価規準

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
○身近な物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に買い物をしようとしている。	○購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	○購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理することができる。	○目的や品質を考えたものの選び方や適切な買い方について理解している。

9 評価計画 (全4時間)

授業の流れ			評価規準と評価方法 (評価方法) ◎重要 ○大切			
次	時	学習活動	家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
一	1	○生活を支えるお金の大切さや計画的な使い方について考える。	◎自分の生活との関わりから、物や金銭の使い方に関心をもっている。 (観察・ワークシート)			○金銭の有効な使い方について理解している。 (観察・ワークシート)
二	1	○文房具の商品を比較し、物の選び方について考える。	○物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に購入しようとしている。 (観察・ワークシート)	◎物の選び方や買い物について考えたり工夫したりしている。 (観察・ワークシート)	○商品の比較に必要な情報を集め、整理することができる。 (観察・ワークシート)	
	2	○話し合いをしながら食品の選び方について考える。	○食品の選び方や買い物に関心を持ち、適切に購入しようとしている。 (観察・ワークシート)	◎食品の選び方や買い物について考えた工夫したりしている。(発表、観察、ワークシート)	○購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理することができる。 (観察・ワークシート)	
三	1	○身の回りの持ち物を見直して、生活に生かしていくことについて考える。		○自分の生活との関わりから、物や金銭の使い方を考えたり自分なりに工夫したりしている。(発表、観察、ワークシート)		◎身近な物や金銭のよりよい使い方について理解している。 (観察・ワークシート)

1 0 本時の目標

- 金銭や物の計画的な使い方を考えたり、工夫したりすることができる。

1 1 指導過程

	学習活動	教師の働きかけと支援 ○評価（観点）【評価方法】
つかもよう 考えよう 深めよう 言語活動	1. 本時の学習のめあてを確認する。	・今までの学習や買い物の経験をふり返らせる。
	お金を上手に使うためには、どんなことに気をつけたらよいか考えよう	
	2. 買い物模擬体験を行う。	・4種類のノートを用意し、実際に自分がノートを買うことを想定させる。
	(1) ノートを選ぶ時の観点を考える。 個人1 (2) それぞれが考えた観点をグループで発表する。 (3) 2～3グループ発表する。 全体1 (4) それぞれの観点について情報を集め、ワークシートに整理する。 個人2 (5) 実際に自分がノートを選ぶ時どの観点を優先するか決めて、ノートを選択する。 個人3 (6) 選んだノートやその理由をグループで交流する。 グループ2 (7) グループ内の発表から1つ選び、発表する。 全体2 (8) 話し合いをして気付いたことを書く。 個人4	・観点の例として価格を挙げ、考えを促す。 ・グループの話し合いが適切に行われているか見取る。 ・話し合いによって得た新たな観点を違う色で書き加えさせる。 ・発表するグループを意図的に指名し、様々な観点があることを全体に広める。 ・どのように情報を収集するのが分からない児童には、表示を一緒に見るなどして表にまとめさせる。 ○評価1（生活の技能）【観察・ワークシート】 ・優先したい観点を丸で囲むよう指示する。 ・集めた情報をもとに、なぜそのノートを選ぶのか説明ができるように促す。 ○評価2（生活の創意工夫）【観察・ワークシート】 ・発表の仕方を示す。 ・優先した観点と選んだ理由を、自分の生活やよりよい物の選び方・使い方と関連させて具体的に書いた児童を評価し、全体に広める。 ・友だちの意見から気付いたことや新たな考えをワークシートに書かせる。 ・友だちの発表を聞き、そのよさを自分の生活に活かそうとする意欲をもてたり、物の選び方についての関心を深めていたりする児童を評価する。 ○評価3（関心・意欲・態度）【観察・ワークシート】
3. 上手な買い物の仕方について考える。	・学習して分かったことやこれから生活に活かしていきたいことについて書かせる。 ○評価4（生活の創意工夫）【ワークシート】	
4. 学習をふり返る。		

まとめよう